

教育目標

人と共に、生き生きとたくましく遊びや生活を楽しむ子ども
豊かな感性としなやかな心をもつ 子ども を育む
～自ら学ぶ力、自ら律する力の育成～

年度末の最終評価

自己評価

教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策**学校関係者評価の評価日・評価者**

	評価日	評価者
中間評価		
最終評価		

（１）幼稚園教育（保育の改善・充実）について**具体的な取組**

- ・家庭・教師・友達・異年齢・小学校・地域の方などとのつながりを支える中で、“自らつながろうとする子ども”や“豊かな心”の育成を目指した教師の援助や環境構成について考える。
- ・明德小学校と“安心感”“つながり”“対話”のキーワードをもとに話し合うことで、育ちの共有や接続を図ったり、架け橋期の大きなポイントとなる学校行事（半日入学・入学式など）の内容や環境について一緒に話し合い、実践しながら検証したりする
- ・子ども同士で考え、工夫して発展させられるような、仕掛け作りをする。
- ・子どもたちが“つながりたい”と感じた瞬間を大切にし、橋渡しをしながら支えたり、身近な人とつながるからこそその楽しさや心地よさを感じられるように言葉かけしたりする。
- ・思わず関わってみたいくなる環境をつくったり、子どもたちが自ら環境に関わる中でどのような心の動きや育ちが見られるかについて探ったりする。
- ・人・もの・こととの“つながり”を意識しながら一人一人の姿を見取ったり、“つながり”が豊かになっていくように支えたりする。

<div>(取組結果を検証する) 各種指標</div> <p>○日々の子どもの姿についての情報共有、記録、事例研究による子どもの変容、週案の反省・評価、教育課程の見直し</p> <p>○アンケート項目「子どもは、自分でしたい遊びを見つけて楽しんでいる」「子どもは、園内の自然環境を遊びに取り入れて楽しんでいる」「子どもは友達と関わることを楽しんでいる」など</p>
--

中間評価

各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

(2) 架け橋期の教育の充実に向けた幼保小連携・接続に関して

<div>具体的な取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校と計画的に、子どもの交流活動や教員の研修を行う。 ・子どもの交流においては、互いの学習や遊びを尊重し、活動内容や場の工夫を行う。その時に、互いのめあてを共有し、子どもの学びや育ちを保障する交流活動になるよう配慮する。 ・公開保育や研究授業を互いに参観し、幼小の特性を学びあい、架け橋期のカリキュラム作成に反映させる。
--

<div>(取組結果を検証する) 各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 架け橋プログラムでの協議、合同研修、幼小での授業、保育参観の回数や協議の内容など ○ 架け橋期のカリキュラムの作成についての進捗状況 ○ 近隣の小学校へ発信した幼稚園通信での反応 ○ 地域の他の幼児教育施設との横のつながりの実践 ○ 読書ノート「親子で絵本！」の活用度を定期的に点検、把握、改善 	
---	--

中間評価

<div>各種指標結果</div>	
自己評価	<div>分析（成果と課題）</div>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div>
	<div>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</div>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div>

最終評価

<div>(中間評価時に設定した) 各種指標結果</div>	
自己評価	<div>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</div>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div>

(3) 預かり保育に関して

<div>具体的な取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ・担任と預かり保育担当教員が子どもの心身の状態について引継ぎ、緊密に連携をとる。 ・時期や季節に応じた玩具や遊びの環境を整え、子どもが安心して、ゆったりとした気持ちで充実して過ごすことができるようにする。 ・未就園児3歳児クラスの子どもについて、安心感が持てるよう、子育て支援、預かり保育両担当の連携を密に図る。 ・早朝及び未就園児3歳児の利用制度について地域への周知を図る。

<div>(取組結果を検証する) 各種指標</div> <p>○預かり保育参加人数</p> <p>○預かり保育の中での子どもの姿や教師のかかわり。</p> <p>○アンケート項目「子どもは預かり保育に喜んで参加している」「子どもは預かり保育の遊びを楽しんでいる」「預かり保育は保護者にとって有効である」など</p>

中間評価

各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

(4) 子育ての支援に関して

<div>具体的な取り組み</div> <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児クラスと在園児クラスとの交流の機会をもち、園の教育への理解や発信につなげる。 ・異学年の交流を大切にし、安心して過ごしたり、刺激をもらったりしながら生活や遊びが充実できるようする。 ・保護者の子育てに対する不安や悩みなどを丁寧に受け止め、共に具体策を考え、保護者の安心につなげる。

<div>(取組結果を検証する) 各種指標</div> <p>○子育て支援事業への登録、参加人数の推移。</p> <p>○子育て支援の取り組みの回数や参加人数、教育相談件数。</p> <p>○保護者の意見。</p>

中間評価

各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

(5) 地域とのかかわり（社会に開かれた教育課程）に関して

<div>具体的な取組</div> <p>・岩倉地域自然ボランティアに地域の生き物について教えてもらったり、畑の先生に栽培物の植え方や育て方を教えてもらったりすることを通して、自然に関心をもてるようにするとともに、地域の方とつながる喜びを感じられるようにする。</p> <p>・自治連、運協と連携し、地域にも園の教育について発信する機会をもつ。</p> <p>・お茶会、田んぼ等の園行事、子育て支援の取組等で地域の方のお力を頂き充実を図る。</p>
<div>(取組結果を検証する) 各種指標</div> <p>○地域との交流の内容や回数。運営協議会理事、PTA、地域の方の意見</p>

- 京都岩倉自然学習ボランティアのお力による取り組みの充実と、子ども、保護者の関心度や変容、研究の充実。
- アンケート項目「学校運営協議会 どんぐりーず」と参画する行事は子どもたちにとって良い経験となっている」「学校運営協議会 どんぐりーず」に子どもたちも親しみをもっている。」など

中間評価

各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

（中間評価時に設定した）各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

（６）教職員の働き方改革について

重点目標
<p>○教育の充実を図るための働き方改革に対する教職員の更なる意識改革を図る。</p> <p>○教職員の業務内容・勤務時間を意識し、改善点を明らかにし、教職員の連携を密に図り、校務支援員を有効活用しながら、働き方改革を推進する。</p> <p>○課題の洗い出しと共に、働きがいのある職場環境を整えていく。</p>
具体的な取組
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員一人一人の職務充実と健康保持のための意識付けを強化する。 ・教職員全体での連携の元、校務支援員を活用しながら仕事の効率化を図り、働き方改革を推進し、教育の充実、教職員の健康保持増進を図る。

<ul style="list-style-type: none"> ・会議の精選・効率化、ペーパーレス化、行事の内容や業務の分担の見直しと効率化、超過勤務の短縮。 ・電話対応時間を１８時までとする。 ・水曜日をノー残業デーに設定し、実現する。
<div>(取組結果を検証する) 各種指標</div> <p>○教職員の超過勤務時間の実態把握や年休取得率。</p> <p>○校務支援員を初めとする教職員間の連携により改善できた業務内容。</p>

中間評価

各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
	(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策